

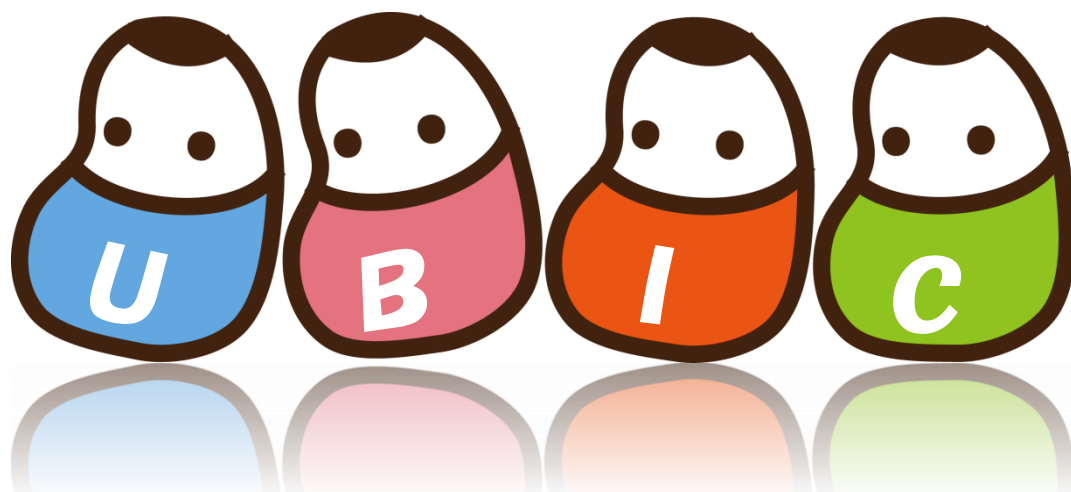
UBIC NEWS







University-Business Innovation Center

会津大学

産学イノベーションセンター

復興支援センター



	産学イノベーションセンター(UBIC) ・復興支援センター(ARC)について	… P 1 ~ 2
	UBICの取組事例	… P 3
	ARCの取組事例	… P 4 ~ 5
	研究技術の活用	… P 6 ~ 9
	教育活動・起業サポート	… P 10 ~ 11
	UBIC利用案内 UBIC・ARCインフォメーション	… P 12 ~ 15

Jイノベ
J-Innovation HUB

2023年3月発行
UBICニュース

第20号



1. 産学イノベーションセンター(UBIC)

・復興支援センター(ARC)について



イノベーションの創出、産業の振興・発展を目指して

会津大学産学イノベーションセンター(略称:UBIC)及び会津大学復興支援センター(略称:ARC)は、会津大学と企業や地域が連携して研究を進めていくための産学官連携の拠点です。

地域や企業に開かれた総合窓口として、企業等との共同研究をはじめ、大学の研究や特許の紹介、大学発ベンチャーや起業家の育成、各種セミナー等の開催により、産学連携を推進しています。



また、企業等の技術相談や経営相談に応じるとともに、企業と大学研究者とのコーディネート活動を行い、産業創出・地域活性化のために活動を進めています。

UBIC・ARCセンター長あいさつ



いしばし しろう

石橋 史朗 (産学イノベーションセンター長 兼 復興支援センター長)

会津大学は2023年に創立30周年を迎えます。この間、ICT(情報通信技術)に特化し国際環境豊かな大学として、先進的な研究・教育活動を進めてまいりました。大学の第3の使命である社会貢献に関しては、1995年に産学イノベーションセンター(UBIC)の前身となるマルチメディアセンターが開設され、それ以降UBICは本学の産学連携の総合窓口としての役割を果たしてきました。また2015年には、震災後の復興支援を目的に先端ICTラボも開設され、大学の社会貢献活動の幅を拡大するとともに、現在では地域のオープンイノベーション拠点としての役割も担っています。

本学の産学連携活動は、共同研究・受託研究の推進、外部資金の獲得、大学研究成果の情報発信、知的財産管理、大学発ベンチャーや人材育成など多岐にわたります。またイノベーションコースト構想の一環としてのロボット研究開発事業や、リカレント教育としての女性IT人材育成など、ICTの専門性を活かした取組みにおいて多くの実績を挙げています。

ICT分野は近年、さまざまな社会課題を解決するための強力な手段として注目を集めています。本学ではこのような課題解決型の社会貢献を進めるための仕組みとして、会津オープンイノベーション会議(AOI会議)を開催しています。ニーズベースの産学連携活動を展開する1つの手法として、課題の発掘から解決策の提示まで、シームレスな対応を進めている点に特長があります。

本学が有する研究成果や人材育成のノウハウを活かして、今後とも課題解決に向けての取組みを進め、産業振興、復興創生支援、さらには新たなイノベーションの創出に貢献してまいります。大学の総合窓口としてのご利用をぜひよろしくお願い申し上げます。

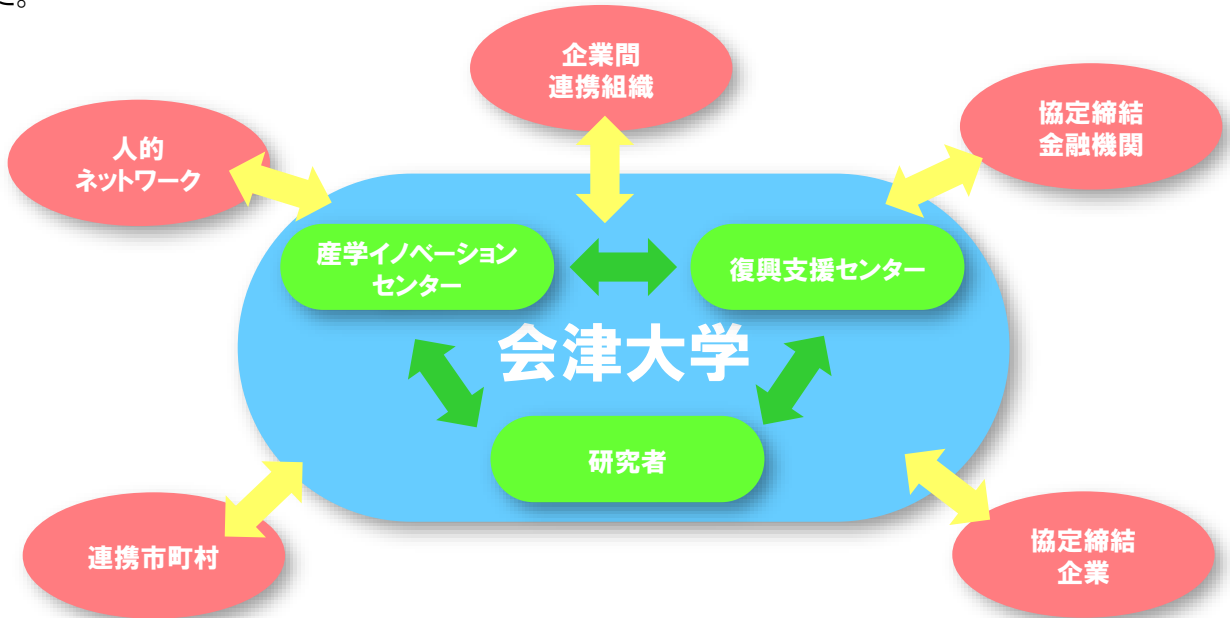
産学官連携の体制

従来の産学イノベーションセンター(UBIC)を核とした産学官連携の枠組に加え、東日本大震災・原子力災害からの福島県の復興支援を目的とした会津大学復興支援センター(ARC)を2013年3月に設立しました。

復興支援センターでは、ICTを活用した産業の振興、雇用の創出を通じて、福島県の復興に貢献するとともに、先進的なICT研究を行い、新たなICT産業と雇用の創出を目指しています。

また、その拠点施設として会津大学先端ICTラボ(LICTiA)が2015年10月に開所しました。

これまでの地域の企業や地方公共団体等との積極的な産学官連携活動が評価され、2020年12月には、経済産業省の「地域オープンイノベーション拠点(地域貢献型)」にも認定されました。



産学イノベーションセンター
UBIC (University-Business Innovation Center)

- 産学官連携の推進
- 共同研究・受託研究等の推進、外部資金の導入
- 企業等からの技術相談や経営相談
- 人材育成、大学発ベンチャーや起業家精神の育成
- 知的財産の管理・活用
- 研究成果の紹介、研究者の技術シーズの情報提供
- 最先端ICT情報を発信する産学連携フォーラムの開催
- ICT関連の各種講習会の開催
- 施設の提供



復興支援センター
ARC (The University of Aizu Revitalization Center)

- 先端ICT研究の実行
- 革新を生み出す場の提供
- ICT人材の創出
- 会津大学先端ICTラボの運営
- 会津産学官連携クラウドの運営
- 会津産学コンソーシアムによる意見交換
- ICTを活用した福島県復興への寄与
 - ・ 県民の安全・安心の向上
 - ・ 原子力災害からの復興
 - ・ 風評の払拭



2. UBICの取組事例

産学イノベーションセンター(UBIC)では、積極的に地域・産業界との産学官連携活動に取り組み、新産業の創出や地域活性化の促進に貢献しています。

会津産学懇話会との取組

会津産学懇話会は、1993年4月の会津大学開学と相俟つように、1993年12月に会津地区経営者協会有志により設立された大学支援団体です。毎月の定例会をはじめ、会津大学と会津産学懇話会の交流会・先進地視察等により、産学連携と会津地域の産業振興のための事業を展開しています。

定例会

月に一度、朝食をとりながら意見交換会を開催しています。



サマーイブニングパーティ

毎年夏には、教員の家族と産学懇話会会員がパーティを通して交流を深めています。



福島県警察との連携

近年、深刻化するサイバー空間での脅威へ対処していくため、会津大学と福島県警察は、2015年11月に「サイバーセキュリティに関する覚書」を締結し、サイバーセキュリティに係る人材育成等に協力していくことになりました。

2019年10月には、県警主催の「サイバーセキュリティリーダー養成講座」が先端ICTラボ(LICTiA)で開催され、サイバー犯罪の情勢やその手口、それを未然に防ぐためのセキュリティ対策、リスクマネジメント等について講義が行われました。本学教員も講師として参加しました。

また、2022年4月、本学の中村章人教授が「福島県警察サイバー犯罪対策アドバイザー」として委嘱され、2022年7月には、インターネット上でのサイバーパトロールやサイバー犯罪防止のための広報啓発活動及び教育活動を目的とした「福島県警察サイバー防犯ボランティア」に係る委嘱状が本学学生2名に対し交付されました。





3. ARCの取組事例

復興支援センター(ARC)では、ICTを活用した産業の振興、雇用の創出を通じて、福島県の復興に貢献するとともに、先進的なICT研究を行い、新たなICT産業と雇用の創出を目指しています。

会津IT秋フォーラム

※会津大学・会津産学コンソーシアム* 主催

会津IT秋フォーラムは、会津大学から福島県内外に最新のITに関する情報発信を行い、会津大学のIT拠点機能の強化を図ることなどを目的として、2007年度から毎年度開催しております。

2015年度以降は、会津大学・会津産学コンソーシアムが主催者となり、2022年度は「デジタル化が変えるひとの暮らし～ひと・暮らし中心のデジタル社会とは～」をテーマとして開催いたしました。

*会津産学コンソーシアム：行政機関、国内外IT関連企業及び会津大学発ベンチャー等による、多対多の産学連携の関係を形成し、ニーズの段階から多様な議論、創造を活性化させ、革新的な技術、ビジネスモデルを生み出す、あるいは新たなニーズを創出する方法を確立することを目的とし設立。

デジタル化が変えるひとの暮らし

～ひと・暮らし中心のデジタル社会とは～

【開催日：2022年11月25日(金) 現地開催及びYouTubeによるオンライン配信】



特別講演

インクルーシブな社会を実現する
アクセシビリティテクノロジー
日本IBM株式会社 IBMフェロー
日本科学未来館 館長
浅川 智恵子 氏



特別講演

月火星箱庭構想で目指す宇宙・
極限ロボット。
会津大学コンピューター理工学部
教授 大竹 真紀子



専門セミナー

【開催テーマ】

- 分科会 1：地域発デジタル社会
- 分科会 2：先端ICT
- 分科会 3：人材育成

女性のためのITキャリアアップ塾

会津大学では、女性IT人材の育成等を目的として、「女性のためのITキャリアアップ塾」を開講しています。

県内ICT企業への就職や起業を目指す女性を対象とした講座で、主な内容は好きな時間にオンラインで受講することができます。

女性のライフスタイルに合わせて、ITの基礎からプログラミングなどのICT企業への就職や起業に役立つスキルを身につけることができます。

また、福島県情報産業協会及び福島県労働局と協力し、県内ICT企業等とのマッチングの機会を設け、就労へのサポートを実施しています。



AOI会議

会津大学では、革新的な技術、ビジネスモデルを生み出すため、大学の研究シーズを主体に1対1の関係で進められる従来型の産学連携から多対多の関係を形成し、ニーズの段階から多様な議論を活性化させ、あるいは新たなニーズを創出するための共創の場として、会津オープンイノベーション会議(AOI会議)を実施しています。

(2021年度開催実績:311回)





4. 研究技術の活用



新技術説明会

会津大学が有する研究成果や特許等について、企業関係者等を対象とした研究技術説明会を開催しています。2019年度は、科学技術振興機構(JST)と共同で「新技術説明会」を開催し、多くの来場者にお越しいただきました。

説明会では、大学教員自らが実用化を想定した説明を行い、企業ニーズとのマッチングを目指しています。また、説明会を通して、参加企業の要望に応じた技術相談を行うことで、産学官連携を推進しています。

開催日：2019年12月17日(火)
会場：JST東京本部別館1Fホール
(東京・市ヶ谷)



1 深層学習に基づくカバー画像の生成と利用方法

教授 趙 強福

ステガノグラフィーは情報の存在を隠す技術で、暗号化と併用すれば情報のセキュリティを向上できます。本技術は、情報を隠すためのカバー画像を無尽蔵に生成することができ、カバー画像とステゴ画像の正当性認証が可能です。また、ステガノグラフィー技術のセキュリティ強度を向上することもできます。

2 人工知能を用いた大腸内視鏡検査補助システム

上級准教授 朱 欣

本技術は、人工知能を用いて大腸内視鏡設備のビデオ出力端子のビデオストリームからリアルタイムで大腸ポリープを検出でき、専門医並みの検出感度及び低い誤認識率を実現します。本技術は大腸内視鏡検査において、大腸ポリープの見逃し率の低減、検査医師の精神・肉体的な負担を軽減、検査時間の短縮を果たします。

3 野生動物をより早く安全に検出するシステム

上級准教授 齋藤 寛

本システムは、野生動物をより早く安全に検出することを目的としたシステムです。センサーをトリガーにカメラ撮影を行い、機械学習にて野生動物の有無を自動で検出します。検出した場合、サーバーを経由してインターネットやメールを通じて検出情報を周知します。また、屋外での使用を想定して、バッテリーで駆動することが可能です。

4 車載単眼カメラからの3次元動画像の再構成と動く物体の距離領域画像抽出

特任教授 岡 隆一

本研究では、動的視差法(Motion-Parallax-Method)方式を開発しています。その手法にシーンのcalibration手法を導入し、車載単眼カメラ撮影の動画像から物理距離を表す3次元動画像を再構成しました。また、カメラ搭載の車と相対的動きのある先行車や対向車、更には歩行者や静止物等の距離領域画像も自動的に抽出できます。

共同研究等

本学との共同研究等をご検討の際は、コンピュータ理工学を専門とする教員(約110名)の中から、研究テーマに最適な教員を紹介いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

■共同研究

共同研究とは、企業等の外部機関の研究者・技術者と本学の教員が共通のテーマについて研究を行う制度です。目的やご希望に応じて、以下の3つの形態から選択することができます。

- ① 研究に要する経費を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究
- ② 共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究
- ③ 研究に要する経費と共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究

■受託研究

受託研究とは、企業等からの受託により本学の教員が研究を行う制度です。研究に必要な経費は、委託者のご負担となります。

■奨学寄附金

奨学寄附金とは、教育及び学術研究の奨励に使用されることを目的に、企業等から寄附金を受け入れる制度です。

共同研究等の開始までのフロー



共同研究等の
希望について
UBICに相談



制度及び教員の紹介

打合せ
(研究テーマ、期間、金額などを決定)

教員と研究内容について打合せ

UBICと契約内容について打合せ

申込書の提出

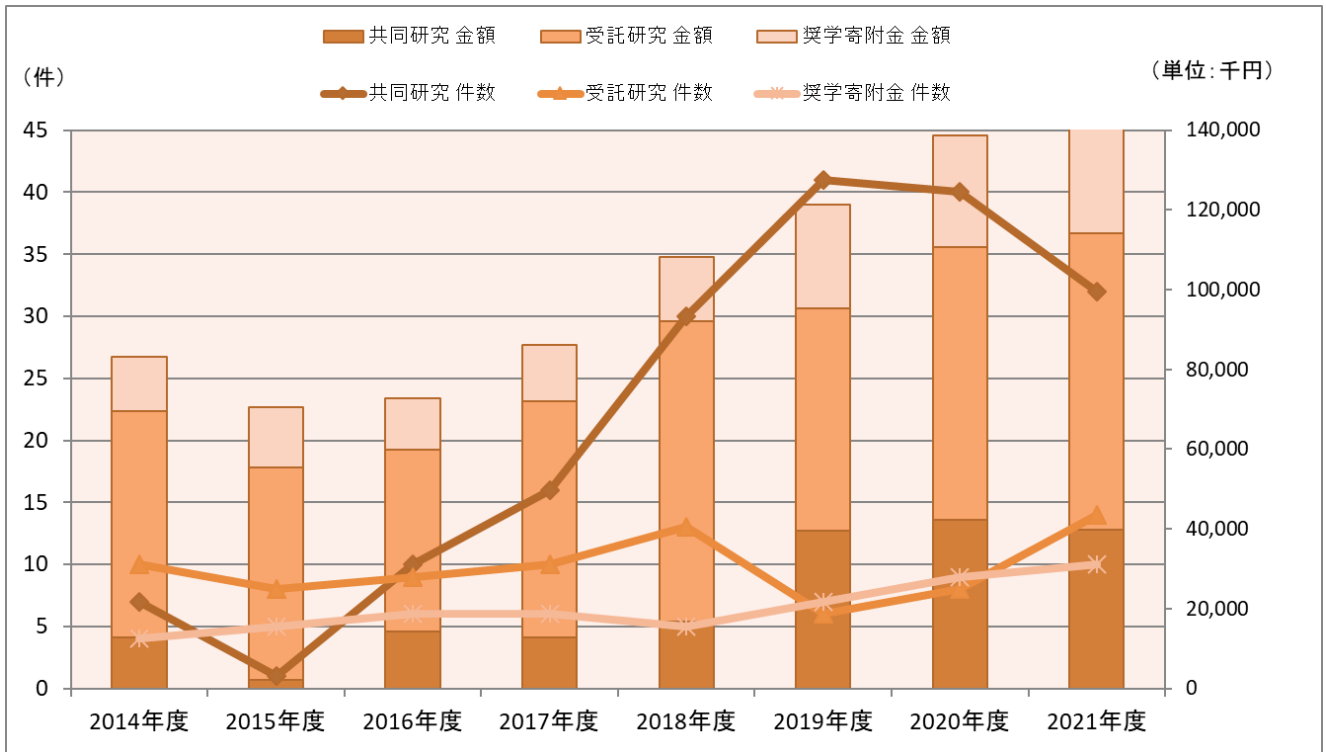
契約締結

費用の納付

研究スタート

共同研究等の実績

2022年3月31日現在



シーズ集の発行

UBICでは毎年、大学の研究成果や技術をまとめたシーズ集を発行しています。是非ご活用ください。

※ シーズ集は、UBICホームページでもご覧いただけます。

<https://www.ubic-u-aizu.jp/kenkyu.html>

また、UBICでは企業の皆様からの技術相談や産学連携のマッチング相談を随時受け付けています。

会津大学の技術に興味を持たれた方は、お気軽にご相談ください。

【相談窓口】 産学イノベーションセンター(UBIC)

☎ : 0242-37-2776(代表)

HP : <https://www.ubic-u-aizu.jp>

✉ : ubic-adm@ubic-u-aizu.jp



	出願番号	発明の名称	登録番号等
1	特願2005-056804	編集支援プログラムおよびプログラム編集の支援方法	特許第5164032号
2	特願2005-291717	呼吸心拍監視装置	特許第4863047号
3	特願2008-230593	センサ装置、センシング情報収集システム、センシング機能代替方法およびセンシング機能代替プログラム	特許第5099777号
4	特願2009-005682	画像パターンマッチング装置、画像パターンマッチング方法および画像パターンマッチング用プログラム	特許第5247481号
5	特願2009-094620	フレイブロッサ	特許第5519951号
6	特願2010-170828	複素型直交変調器、複素型直交復調器及びこれらに用いる直交ミキサ	特許第5574293号
7	特願2010-262195	ジェスチャ認識装置及びジェスチャ認識方法	特許第5733656号
8	特願2011-018668	ストローク生成装置、ストローク生成方法、ストローク生成プログラム、文字生成装置、文字生成方法および文字生成プログラム	特許第5713707号
9	特願2012-163332	動画処理装置および動画処理プログラム	特許第5608194号
10	特願2012-204403	センサネットワークシステム及びセンサネットワークシステムにおけるデータ取得方法	特許第5943476号
11	特願2013-024166	類似系列区間検出装置および類似系列区間検出プログラム	特許第6061714号
12	特願2013-189878	水田除草ロボット（※ユエ川エンジニアリング社との共同出願）	特許第6260951号
13	特願2013-262523	誤り耐性ルータ、これを用いるIC、及び誤り耐性ルータの制御方法	特許第6284177号
14	特願2014-041620	移動軌跡解析装置及び方法（※日本電信電話社との共同出願）	特許第6044937号
15	特願2014-044834	深部温度計（※奈良先端科学技術大学院大学との共同出願）	特許第6395176号
16	特願2014-051566	電子測角器及び測角プログラム	特許第6338268号
17	特願2014-087842	複写複写型秘密画像分散法、及びこれを実行するプログラム	特許第6391109号
18	特願2014-139370	再生可能エネルギーを利用した情報処理システム（※株式会社EWMジャパンとの共同出願）	特許第6425166号
19	特願2015-139322	クロスモダリティ感覚分析システム、提示情報決定システム、情報提示システム、クロスモダリティ感覚分析プログラム、提示情報決定プログラムおよび情報提示プログラム（※筑波大学との共同出願）	特許第6656570号
20	特願2015-177680	ドローンおよびドローン群	特許第6602614号
21	特願2015-196698	それぞれコントロールユニットを有する非ブロック光スイッチを用いる光ネットワーク・オン・チップシステムのセットアップ方法	特許第6074768号
22	特願2015-204608	近似的同期CDMA通信システム及び通信方法	特許第6611739号
23	特願2015-207660	災害時情報管理システム、これに用いるサーバ装置及び端末装置	特許第6811947号
24	特願2015-217618	挿え込み型除細動器の挿え込み部位における体内電気伝導様式をシミュレーションするコンピュータ装置及びシミュレーション方法	特許第6618771号
25	特願2016-063390	スピーカから再生される音の定位化方法、及びこれに用いる音像定位化装置	特許第6770698号
26	特願2016-098424	被験者の識別・反応機能を計測するための識別・反応計測装置、及び被験者の識別・反応機能の計測を実行制御するプログラム	特許第6939392号
27	特願2016-100732	ネットワークオンチップ用の欠陥耐性ルータ	特許第6846027号
28	特願2016-126337	呼吸検出装置、呼吸検出方法および呼吸検出プログラム	特許第6709116号
29	特願2016-146033	ロボットを操作する装置、その装置において実行される方法およびプログラム	特許第6910828号
30	特願2016-205061	手書き文字認識装置、検出装置および処理装置	特許第6821174号
31	特願2016-227628	浴槽式心電モニタリングシステム、これを用いる入浴中心電モニタ方法、最適入浴条件設定方法及び、入浴中心電モニタ方法を実行する制御プログラム	特許第6785500号
32	特願2017-043073	手書き文字によるユーザ認証システム	特許第7033288号
33	特願2017-117686	データ処理装置、及びこれにおけるデータ処理方法	特許第7014393号
34	特願2017-120278	携帯端末を用いた察知エージェントシステム、察知エージェントシステムにおける機械学習方法、及びこれを実施するためのプログラム	特許第6746139号
35	特願2017-124730	認証装置、認証方法及びコンピュータプログラム（※SIMPLEX QUANTUM社との共同出願）	特許第6765657号
36	特願2017-156805	秘密データの隠蔽方法、これを実施するプログラム、及び秘密データ通信システム	特許第7143973号
37	特願2017-158781	画像距離算出装置、画像距離算出方法および画像距離算出プログラム	特許第6750183号
38	特願2017-162242	屋内位置特定システム、携帯端末及びコンピュータプログラム	特許第6971467号
39	特願2017-192767	音声認識装置および音声認識プログラム	特許第6944329号
40	特願2017-218953	3DネットワークオンチップのためのTSV誤り耐性ルータ装置（※株式会社ルポとの共同出願）	(特許査定)
41	特願2017-235198	動画距離算出装置および動画距離算出プログラム	特許第6982865号
42	特願2018-018854	認証システム、認証方法及びコンピュータプログラム	特許第6979204号
43	特願2018-230323	ニューラルネットワークの学習方法、コンピュータプログラム及びコンピュータ装置	(特許査定)
44	特願2018-240066	階層バウンディングボリューム生成方法、コンピュータプログラム及びコンピュータ装置	特許第7161154号
45	特願2019-041980	動画距離算出装置および動画距離算出プログラム	特許第7157449号
46	特願2019-059707	野生動物検出装置	
47	特願2019-060649	モーションセンサを搭載したセンサ装置及び位置推定方法	特許第7014439号
48	特願2019-117078	秘密データの通信方法、秘密データの通信プログラム及び秘密データの通信システム	
49	特願2019-124541	3次元ネットワークオンチップによるスライキングニューラルネットワーク	
50	特願2019-125734	ラベリングプログラム、ラベリング装置及びラベリング方法（※アルバイ社との共同出願）	
51	特願2019-185284	大腸内視鏡検査補助装置、大腸内視鏡検査補助方法及び大腸内視鏡検査補助プログラム（※福島県立医科大学との共同出願）	
52	特願2019-217358	補正距離算出装置、補正距離算出プログラムおよび補正距離算出方法	
53	特願2020-022553	検査プログラム、検査装置及び検査方法（※アサヒ電子社との共同出願）	
54	特願2020-028085	分類プログラム、分類装置及び分類方法（※福島県立医科大学との共同出願）	
55	特願2020-033678	仮想発電所制御システム（※株式会社コンピュタサイエンス研究所との共同出願）	特許第6804072号
56	特願2020-042133	カテゴリ識別プログラム、カテゴリ識別装置及びカテゴリ識別方法	
57	特願2020-042803	対象物識別システム、対象物識別プログラム、情報処理装置、対象物識別方法及び識別装置（※株式会社グダストセンターとの共同出願）	特許第7206451号
58	特願2020-043230	データ処理装置及びデータ処理方法	
59	特願2020-045595	野生動物警報システム及び野生動物警報方法	
60	特願2020-054493	プログラム、自律移動装置の管理装置、管理方法及び管理システム（※TIS社との共同出願）	
61	特願2020-071633	学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アサヒ電子社との共同出願）	
62	特願2020-094220	複数のTSVを含むTSVグループが層間を接続するオンチップの3次元システム	
63	特願2020-123114	指示値読取プログラム、指示値読取装置及び指示値読取方法（※信越半導体社との共同出願）	
64	特願2020-137240	心房細動検知プログラム、心房細動検知装置、心房細動検知方法及び心房細動検知システム（※SIMPLEX QUANTUM社との共同出願）	特許第7022957号
65	特願2021-018896	学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アルプスアルバイ社との共同出願）	
66	特願2021-142015	学習データ生成プログラム、学習データ生成装置及び学習データ生成方法（※アルプスアルバイ社との共同出願）	
67	特願2021-142016	学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アルプスアルバイ社との共同出願）	
68	特願2021-142017	学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アルプスアルバイ社との共同出願）	
69	特願2021-171553	複数のリンク内の複数誤りを検出する複数誤り検出回路及び複数誤り検出回路を有する誤り訂正回路	
70	特願2021-185960	複数の移動体のそれぞれの移動経路の作成方法、システムおよびプログラム（※株式会社東日本計算センターとの共同出願）	
71	特願2021-189720	情報読取プログラム、情報処理装置及び情報読取方法（※信越半導体社との共同出願）	
72	特願2021-194733	AIプロセス	
73	特願2021-024842	動作特定プログラム、情報処理装置及び動作特定方法	
74	特願2021-042444	モデル推論プログラム、情報処理装置及びモデル推論方法	
75	特願2021-047837	周期的近傍パターン検出装置、周期的近傍パターン検出プログラム及び周期的近傍パターン検出方法	
76	特願2021-092181	プロトタイプ読取プログラム、プロトタイプ読取装置及びプロトタイプ読取方法（※信越半導体社との共同出願）	(未公開)
77	特願2021-121259	情報処理システム、情報処理方法、振分装置、通知装置、振分プログラム及び通知プログラム	(未公開)
78	特願2021-121263	プログラミング学習支援プログラム、情報処理装置及びプログラミング学習支援方法	(未公開)
79	特願2021-213059	学習モデル生成プログラム、学習モデル生成装置及び学習モデル生成方法	(未公開)
80	特願2021-214286	時系列分類装置、時系列分類プログラム及び時系列分類方法	(未公開)
81	特願2022-016161	入浴者見守りシステム（※株式会社情報システムエンジニアリングとの共同出願）	特許第7126230号
82	特願2022-022472	電力取引システム及び電力取引方法（※株式会社コンピュタサイエンス研究所との共同出願）	(未公開)
83	特願2022-033334	学習モデル置換プログラム、学習モデル置換装置、学習モデル置換方法及びニューラルネットワーク回路装置	(未公開)
84	特願2022-056069	デンソルメモリ及びデンソルプロセス（※株式会社ブスシステムズとの共同出願）	(未公開)
85	特願2022-057019	学習モデル生成プログラム、学習モデル生成装置及び学習モデル生成方法（福島県立医科大学との共同出願）	(未公開)
86	特願2022-125488	心拍分類装置及び浴者見守りシステム（※株式会社情報システムエンジニアリングとの共同出願）	特許第7162232号
87	特願2022-178106	画像認識システム（国立研究開発法人情報通信研究機構との共同出願）	(未公開)
88	特願2022-182875	関節角度推定プログラム、情報処理装置、関節角度推定方法及び関節角度推定システム	(未公開)
89	特願2022-187467	ユーザ認証プログラム、情報処理装置及びユーザ認証方法	(未公開)
90	特願2022-196416	ホモジニアスコンピュータビジョンシステム及びホモジニアスコンピュータビジョンデバイスのマイグレーションフローの生成プログラム	(未公開)
91	特願2023-010098	位置検知システム及びセンサ取り付け方法	(未公開)



5. 教育活動・起業サポート



会津IT日新館

～ベンチャー人材育成プログラム～

会津IT日新館は、大学が地域のベンチャーや企業、自治体と連携し、地域や企業のニーズに対応したテーマを持つベンチャー体験工房群を構成し、挑戦する精神と技術力を持つ人材育成に取り組んでいます。

ベンチャー基本コース

ベンチャー基本コースは、より実践的なビジネス知識が習得できるように、「知識編」と「講義」で構成された授業です。「知識編」では、ビジネスに関連した知識を学び、ベンチャー精神育成に必要な知識を習得することができます。「講義」では、各分野で活躍している多彩な外部講師によるタイムリーな話題に触れることができます。



ベンチャー体験工房

ベンチャー体験工房は、より少人数で実践的な教育手法として注目されているPBL(プロジェクト形式の課題解決型学習)を取り入れた授業です。

大学や地域、企業の課題を見つけ、チームで一つの開発テーマに取り組み、実践します。

また、企業の技術者から直接指導を受け、ベンチャー創業活動や産業界での実務に近いソフトウェア開発などの疑似体験をすることにより、起業家精神の醸成を行っています。



学生の活躍

2021年11月25日～28日にかけて開催されたロボカップアジアパシフィック2021あいち Flying Robot部門で、矢口勇一上級准教授、4年生の佐藤奈保さん、3年生の佐藤弓之介さんのチームが2位入賞しました。

Flying Robot部門は、災害で被災した家屋を想定し、自律飛行するフライングロボット(ドローン)を用いて様々なタスクをこなす競技で、会津大のチームはリモートで参加し、インターネット経由でロボットを操作しました。



起業支援の取組について

◆会津大学発ベンチャーの称号付与

本学の研究成果や資源等を活用して起業したベンチャーに対して、「会津大学発ベンチャー」の称号を授与しており、称号を受けた事業者に対しては、創業支援・起業支援に関する様々なサポートを行っています。



No.	企業名	事業内容	認定日
1	株式会社会津ラボ	コンピュータに関するセキュリティシステムの企画、開発、運営ほか	2007/02/28
2	株式会社心電技術研究所	医療福祉健康関連の情報処理システムの開発販売輸出入貿易、情報管理、及び情報提供サービス業務ほか	2007/02/28
3	SORA有限会社	コミュニケーション用ソフトウェアシステムの開発及び販売ほか	2007/02/28
4	株式会社Eyes,JAPAN	コンピュータの操作方法の指導、コンピュータシステムの企画調査及びコンサルティングほか	2007/02/28
5	株式会社シंक	コンピュータに関わる各種ビジネスシステムの企画、コンサルタントほか	2007/02/28
6	株式会社ニセンエックス	コンピュータのシステム開発及び販売ほか	2007/02/28
7	天系瓜ネット合同会社	プロバイダサービス、ホームページ作成、各種プログラム開発、ネットワーク管理業務	2007/07/25
8	株式会社デザインウム	映像・情報・広告宣伝媒体等の企画、編集、製造、販売	2007/07/25
9	株式会社GClue	コンピュータシステム関連の出版業務、コンピュータソフトウェアの分析、設計、開発、販売、コンピュータによる情報提供サービスほか	2007/07/25
10	有限会社フロンティアオンライン	コンピュータソフトウェアの開発、操作に関する指導、ソフトウェア及びハードウェアの販売	2007/07/25
11	株式会社T&Iコミュニケーションズ	コンピュータに関するセキュリティシステムの企画、開発、運営ほか	2012/08/01
12	株式会社あくしゅ	クラウド基盤構築、システム開発ほか	2012/10/11
13	株式会社PLISE	システム開発	2014/03/18
14	株式会社スタンダード (ノグテカカ)	ホームページ製・運用保守、オープンソースCMSのカスタマイズ、WEBアプリ、モバイルアプリの開発・運用保守ほか	2015/03/03
15	株式会社ウェブレッジ	Webサービス改善コンサルティング事業、Web&モバイル・ソフトウェアテスト事業、開発ソリューション事業ほか	2015/05/19
16	株式会社FaBo	プロトタイピングツール「FaBo」の開発・販売ほか	2016/06/30
17	株式会社dott	Webシステム・アプリ・サイトの企画開発運営ほか	2016/06/30
18	株式会社ミナノチカラ	社会起業家育成のための教育研修・支援、就職・再就職・転職のための教育研修・支援ほか	2017/09/26
19	TAKLAM	コンサート・ライブ・イベントの運営業務、ライブ・イベントステージ等の制作や企画、デジタルコンテンツの制作ほか	2018/05/24
20	株式会社Anost VR	VRコンテンツの開発・展示	2018/12/12
21	株式会社チームミズキ	ブロックチェーン開発及びコンサルティング、デジタルコンテンツの企画・立案・制作ほか	2019/03/27
22	株式会社Novera	スマートミラー事業、スマートフォンアプリ事業	2019/08/01
23	株式会社会津コンピュータ サイエンス研究所	コンピュータに係る新技術の研究開発	2019/08/01
24	AizuBT株式会社	コンピュータのソフトウェア及びハードウェアの企画ほか	2020/09/29
25	株式会社コンピュータ	情報システムと機械に関わる製品とサービスの提供	2020/09/29
26	mooi(モーイ)	インターネット通販、ゲストハウス運営、WEBページ制作	2020/11/12
27	株式会社FromFrom	コンピュータのソフトウェア及びハードウェアの企画、研究、開発、設計、製造、販売、保守、リース、賃貸及び輸出入並びにこれらに関するコンサルティング業務ほか	2022/02/22
28	合同会社ムーン・アンド・プラネット	宇宙開発に関する広報及び普及啓発活動の実施、宇宙開発に関するイベントの企画・運営・構想提案、宇宙開発に関する調査・研究の受託・実施ほか	2022/02/22
29	株式会社プランチズム	インターネットを利用した各種サービス等の企画、開発、制作、配信、管理、運営及び販売ほか	2022/02/22
30	イシックスジャパン合同会社	AI・IoT・ICTなどに関連するシステム・ソリューションの企画・開発ほか	2022/6/15

◆研究開発室等の利用と法人登記

本学の教員又は学生が起業したベンチャー（設立5年以内）などを対象として、産学イノベーションセンター(UBIC)の研究開発室及びブース型オフィス※を提供しています。「会津大学発ベンチャー」の称号を授与された企業は、研究開発室・ブース型オフィスの入居にあたって、使用料の減免措置を受けることができます。また、本学施設を利用して事業活動を行うベンチャーは、入居期間中、本学を法人登記の所在地として活用することができます。

※研究開発室・ブース型オフィスのほか、復興支援センター先端ICTラボのプロジェクトルームの使用も可能です。



6. UBIC利用案内



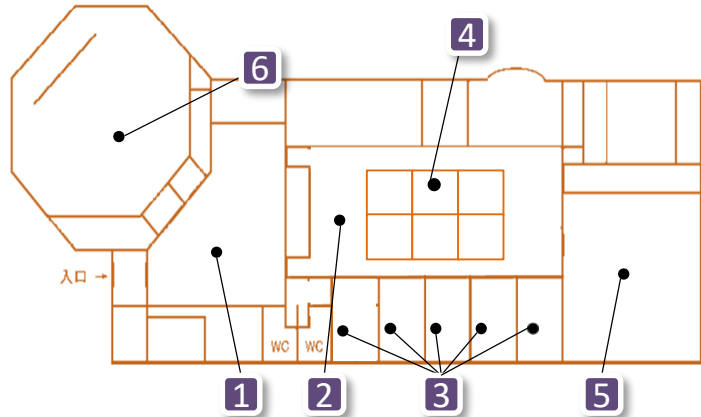
- 開館時間 午前8時30分～午後5時
- 休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
- 申込方法 事前申込制

※使用する施設・システムの空き状況については、電話、Eメール等によりお問い合わせください。

※申請書はUBICホームページからダウンロードできます。

※使用単位中「1回」とあるのは、次に掲げる時間です。

①8:30～12:30 ②13:00～17:00



無料施設

1 エントランスホール



技術相談や共同研究の打合せ、あるいは情報交換や休憩等にご利用いただけます。ビジネス書を中心とした約300冊の蔵書を自由に閲覧することのできるスペースもあります。

2 オープンスペース



会議用の机、椅子を設置しています。無料で開放していますので、少人数でのミーティングや作業スペースとしてお気軽にご利用いただけます。

有料施設

3 研究開発室 使用料 440,000円/1室1年(税込)

産学連携の拠点として、研究開発室を5室用意しています。大学との連携のもと、IT分野の研究開発や、新規ビジネス創出の場として、スタートアップをはじめとした企業の方々に貸し出しを行っています。(※詳細は13ページをご覧ください。)



4 ブース型オフィス 使用料 264,000円/1室1年(税込)

産学連携の拠点として、ブース型オフィスを6室用意しています。大学との連携のもと、IT分野の研究開発や、新規ビジネス創出の場として、スタートアップをはじめとした企業の方々に貸し出しを行っています。(※詳細は13ページをご覧ください。)



5 運動解析ルーム 使用料 16,500円/1回(税込)

赤外線を反射するマーカーを人体や物体に装着することにより、人間や物体の動きをデータとしてコンピュータに取り込むことができます。スポーツ技術の向上、リハビリ器具の開発、伝統芸能の保存など、運動状況の把握や解析にご利用いただけます。



6 3Dシアター 使用料 22,000円/1回(税込)

高輝度高精細液晶プロジェクタ、200インチスクリーン、ワイヤレスマイク等を備えたプレゼンテーション用の空間を提供します。数十人規模でのセミナーや研究会の開催、その他プレゼンテーションの場としてご利用いただけます。(50名程度入場可能)



研究開発室・ブース型オフィス

産学イノベーションセンターでは、会津大学の技術を活用し、ICTに関する研究開発を支援する施設として、企業等の皆様に「UBIC研究開発室」及び「UBICブース型オフィス」を提供しています。

■使用対象者

- (1) 会津大学の教員と共同でコンピュータソフトウェア又はハードウェアに関する研究開発を行う福島県内外の企業、各種団体、又は個人。(※毎年度更新、最長3年以内で利用可能)
- (2) 会津大学の教員又は学生が起業した法人(設立後5年以内の法人に限る)、又は起業しようとする個人。(※毎年度更新、最長5年以内で利用可能)

■概要

◆研究開発室◆

- (1) 部屋数：5室
- (2) 面積：24㎡(1室)
- (3) 使用料(光熱水費込)：440,000円(1室1年、税込)
- (4) 研究開発室内では、机、椅子、電気、水道、ネットワークが使用可能です。
- (5) コンピュータおよび周辺機器、電話等の必要な機器については、使用者側で準備していただきます。



◆ブース型オフィス◆

- (1) 部屋数：6室
- (2) 面積：15㎡(1室)
- (3) 使用料(光熱水費込)：264,000円(1室1年、税込)
- (4) ブース型オフィス内では、机、椅子、電気、ネットワークが使用可能です。
- (5) コンピュータおよび周辺機器、電話等の必要な機器については、使用者側で準備していただきます。



■使用者決定の流れ

- (1) **公募開始** ※研究開発室・ブース型オフィスの空き状況等により、公募の時期や内容が異なります。
↓
※公募の際には、UBICホームページ等でお知らせします。
- (2) **使用者の選定** ※『会津大学産学イノベーションセンター研究開発室使用者選定基準』に基づき選考します。
↓
- (3) **使用者決定の通知、入居手続きの開始等**

産学連携専任教員

産学イノベーションセンター・復興支援センターでは、共同研究のコーディネーターから発明・特許の管理まで、産学連携に必要なサポートを実施いたします。技術相談や事業化に関わる相談等を幅広く受け付けていますので、是非お気軽にご相談ください。



産学イノベーションセンター
教授
石橋 史朗

産学連携活動を進めていく中で、防災、環境、高齢化社会などの課題解決に、情報通信技術を少しでも役立てていければと考えています。また、大学内外における教育活動を通じて、次の世代を担う若い方々の育成にも貢献できればと思っておりますので、よろしくお願い致します。



産学イノベーションセンター
准教授
島 圭佑

産学連携は、既成概念を壊す強力なイノベーションを生み出し、地域の様々な課題を解決できるものと考えております。また、様々なデータを解析し、有益な情報を見つけ出す研究も行っております。データ分析・利活用のごことでお困りの際は是非ご相談いただければと思いますので、よろしくお願いします。



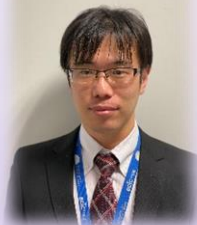
産学イノベーションセンター
准教授
五十島 淑

大学の技術と企業の連携による、情報通信技術の更なる発展、また、実用化に向けた活動に取り組んでいきたいと考えております。また、地元である会津の課題解決に向け活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



復興支援センター
教授
田中 秀樹

特許庁から出向しています。長年の特許審査経験及び産業財産行政の経験を生かして、特に産業財産の観点から皆様のお役に立ちたいと思います。また、本誌掲載の「女性のためのITキャリアアップ塾」のプロジェクトマネージャーとして産学連携に取り組んでいます。



復興支援センター
准教授
鈴木 崇正

産学連携に活用されるデータセンター管理者を担当しています。共同研究から実運用までサポートできるISMS認証済みの環境を準備し対応させていただきます。会津大学の知識と環境が地域貢献に繋がるよう努めて参りますので、よろしくお願い致します。

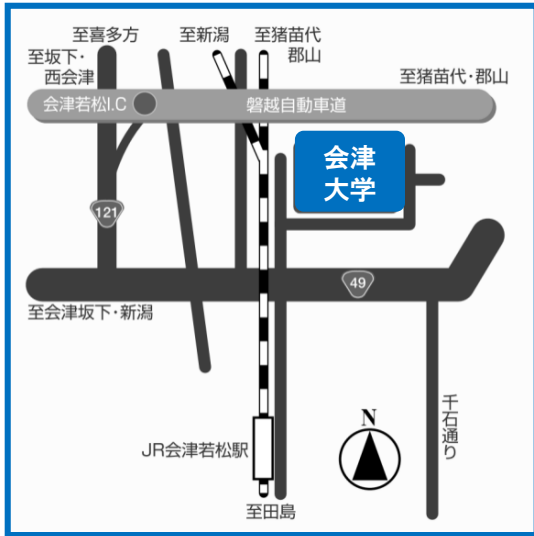


復興支援センター
特任教授
屋代 眞

2015年から復興支援センターでロボット関連の研究・事業を通じ産学連携の推進、2019年からは南相馬市に新たにできた会津大学オフィスと協力してロボットや情報の技術を生かした浜通りの復興支援・人材育成を推進しております。ロボット技術を生かした次世代の情報技術の研究や産学連携を皆様と進めていきたいと思っております。

UBIC・ARCインフォメーション

◆ アクセス



<キャンパスマップ>



新型コロナウイルス 感染症対策について

本学の産学連携施設では、以下の通り感染予防対策を行っております。



リモート会議室の整備



アルコール消毒液の設置



共有スペースの
ソーシャルディスタンス

会津大学産学イノベーションセンター
(U B I C)
〒965-8580 福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90

電話: 0242-37-2776

FAX: 0242-37-2778

Eメール: ubic@u-aizu.ac.jp

ホームページ: <https://www.ubic-u-aizu.jp/>

会津大学産学イノベーションセンター・復興支援センターのFacebookページもございます。

UBIC Facebook



会津大学
産学イノベーションセンター

会津大学復興支援センター (ARC)
[先端ICTラボ (LICTIA) 内]
〒965-8580 福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90

電話: 0242-37-2533

FAX: 0242-37-2687

Eメール: [revitalization-adm@](mailto:revitalization-adm@u-aizu.ac.jp)

u-aizu.ac.jp

ホームページ: <http://www.lictia.jp/>

施設・サービス: [http://www.lictia.jp/ser](http://www.lictia.jp/services.html)
[vices.html](http://www.lictia.jp/services.html)

